

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成28年4月28日 (2016.4.28)

【公開番号】特開2014-197141 (P2014-197141A)

【公開日】平成26年10月16日 (2014.10.16)

【年通号数】公開・登録公報2014-057

【出願番号】特願2013-73047 (P2013-73047)

【国際特許分類】

G 0 3 B 7/099 (2014.01)

G 0 3 B 15/00 (2006.01)

G 0 3 B 7/095 (2006.01)

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 7/099

G 0 3 B 15/00 Q

G 0 3 B 7/095

H 0 4 N 5/232 H

【手続補正書】

【提出日】平成28年3月9日 (2016.3.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

上記目的を達成するために、本発明の撮像装置は、フォーカシングスクリーンに結像した前記被写体像の光束を集光し、当該集光した光束に基づいて前記被写体像の輝度情報及び画像情報を含む測光情報を出力する測光手段と、前記フォーカシングスクリーンからの光束が前記測光手段に至る光路中に配置され、絞り径を変更できる絞りと、前記絞りを制御する制御手段と、前記測光手段から出力された前記画像情報に基づいて被写体認識を行う被写体認識手段と、前記画像情報に基づいて前記被写体認識手段が行う被写体の認識動作に基づき、前記被写体認識手段により被写体認識が可能であるかを判断する判断手段と、を備え、前記制御手段は、前記判断手段が前記被写体認識手段による前記被写体認識が可能でないとして判断した場合に、前記絞りを絞るように制御することを特徴とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

フォーカシングスクリーンに結像した前記被写体像の光束を集光し、当該集光した光束に基づいて前記被写体像の輝度情報及び画像情報を含む測光情報を出力する測光手段と、前記フォーカシングスクリーンからの光束が前記測光手段に至る光路中に配置され、絞り径を変更できる絞りと、前記絞りを制御する制御手段と、前記測光手段から出力された前記画像情報に基づいて被写体認識を行う被写体認識手段と、

前記画像情報に基づいて前記被写体認識手段が行う被写体の認識動作に基づき、前記被写体認識手段により被写体認識が可能であることを判断する判断手段と、を備え、

前記制御手段は、前記判断手段が前記被写体認識手段による前記被写体認識が可能でないと判断した場合に、前記絞り絞りを絞るように制御することを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】

前記制御手段は、前記判断手段が前記被写体認識手段による前記被写体認識が可能でないと判断した場合に、前記測光手段から出力された前記輝度情報を取得し、当該取得した輝度情報に基づいて絞り値を算出し、当該算出した絞り値に対応させて前記絞りを制御することを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 3】

前記制御手段は、前記測光手段の低輝度限界を下回らない測光範囲において前記絞り値を算出することを特徴とする請求項 2 に記載の撮像装置。

【請求項 4】

前記制御手段は、前記判断手段が前記被写体認識手段による前記被写体認識が可能でないと判断した場合に、前記判断手段が前記被写体認識手段による前記被写体認識が可能であると判断するまで前記絞りを段階的に絞るように制御することを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 5】

前記絞りの絞り値に応じた補正量を記憶する記憶手段と、

前記絞りが絞られた際に、前記測光手段から出力される測光情報を前記記憶手段に記憶されているうちの対応する補正量で補正する補正手段と、を備えることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載の撮像装置。

【請求項 6】

第 1 の撮像手段と、

前記第 1 の撮像手段とは異なる位置に設けられた第 2 の撮像手段と、

撮像レンズを介して入射し前記第 1 の撮像手段側へと向かう光束を前記第 2 の撮像手段側へと導くミラーと、

前記ミラーから前記第 2 の撮像手段までの間に設けられ、前記ミラーによって導かれた光束に対応した光量を調節する絞りと、

前記第 2 の撮像手段から出力された画像情報に基づいて、前記絞りの開口を制御する制御手段と、を有することを特徴とする撮像装置。

【請求項 7】

前記撮像装置は、前記第 2 の撮像手段から出力された画像情報に基づいて、被写体の測光および被写体の検出が可能であって、

前記制御手段は、前記被写体の検出結果に基づいて前記絞りの開口を制御することを特徴とする請求項 6 に記載の撮像装置。

【請求項 8】

第 1 の撮像手段と、

前記第 1 の撮像手段とは異なる位置に設けられた第 2 の撮像手段と、

少なくとも、前記第 1 の撮像手段に導く光束に対応した光量を調節する第 1 の絞りと、

前記第 2 の撮像手段に導く光束に対応した光量を調節する第 2 の絞りと、

前記第 2 の撮像手段から出力された画像情報に基づいて、前記第 2 の絞りの開口を制御する制御手段と、を有し、

前記第 1 の絞りは、前記第 2 の絞りとは異なることを特徴とする撮像装置。